

〈特別支援教育の視点を加えた習熟の程度に応じた指導イメージ〉

本時の目標（ねらい）にある「付きたい力」の育成状況の把握

評価規準に
照らし合わせたもの

大部分の児童生徒が、「B:おおむね満足できる」状況

「C:努力を要する」状況の児童生徒が多い状況

指導の工夫の
有効性を検証

「C:努力を要する」状況の児童生徒の具体的な状況(つまずき)の把握	
項目	障がいによる「つまずき」の視点
読み	文字の認識、語句理解、認識方法の特性 など
書き	綴る能力、手先の器用さ、正しい文法の摘要 など
計算	数学的演算の実行、問題に適した数学的演算の適用 など
注意	行為の遂行、外的刺激の影響、注意の維持・移動 など
対人関係	話し言葉の理解、言外の意味理解 など

指導の工夫の
問題点を分析

①ICF大分モデル
ワークシートを活用
すると更に広範囲に
把握できる。

「C:努力を要する」状況の児童生徒に必要な支援の検討	
項目	必要な支援（合理的配慮を含む）の例
読み	振り仮名、関係図の活用、手順書の活用 など
書き	書字サイズの調整、紙の滑り止め、PC入力 など
計算	具体物の活用、実生活での活用例、計算機の活用 など
注意	刺激（音や色）の調整、注意を引く工夫 など
対人関係	文字や図表の活用、具体的表現の使用 など

④「個に応じた指導の手引き」(H29.3)を参考

・障がいに
よらない
様々な支援

②合理的配慮は、
・物理的環境の調整
・意思疎通の配慮
・慣習の変更の観点
で考える。

個別の指導計画の作成

③様式(記入例付き)
を参考にできる。

・他の教科・学年における活用の確認
・さらなる充実のための工夫の検討

授 業 改 善

・問題点の改善
・別の指導の工夫の検討

*①～③は大分県教育委員会HP『ICF大分モデルを活用した合理的配慮の検討』に公開（「ICF大分モデル」でWeb検索すると様式等をダウンロードできる。）